SEKI BUSINESS REPORT

第75期 中間報告書

2023年4月1日～
2023年9月30日

セキ株式会社
中・長期経営計画「Next200」

Next 200
2017-2025-2035

SEKI

証券コード:7857

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申しあげます。

当社グループの第75期(2024年3月期)中間連結決算におきましては、後述の財務ハイライトに記載の通り増収減益という結果となりました。当社グループが属する業界においては、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進によるペーパーレス化や、紙媒体広告からインターネット広告への動きが加速化しており、引き続き印刷需要が全国的に減少しております。また、物価上昇による個人消費の落ち込みにより、包装資材需要も減少傾向にあります。当社においては、エネルギー価格高騰によるユーティリティ費の上昇は落ち着いてきたものの、印刷用紙やインキの値上げをはじめとする原材料費は引き続き上昇しており、製造原価は期初の想定より上回って推移しております。販売価格改定を進めているものの、原材料や間接材の値上げが断続的に続いており、引き続き販売価格改定に尽力していきます。製造原価を適正値にしていくため、製造現場での生産性向上を進めるとともに、省人化の一環として工場内運搬業務の無人化への取り組みを現在進めています。

我々は、当社の主要事業である印刷分野を軸として、顧客の業務プロセス全体に対する付加価値を提供していくことを目指しています。顧客の課題に対して印刷分野だけで対応するのではなく、サイトの運営・管理、商品企画・販売、在庫管理や物流などといった業務全体のプロセスを受託する受注活動を推進しています。

当社の事業方針の中核を担う『地域間連携、異分野・異業種連携の推進』を目的として、消費者購買データを扱うビッグデータプラットフォームを提供する企業へ出資しました。連携先企業の強みも活用し、当社が顧客の成長戦略のパートナーとなるべくソリューション提供の領域を今後も拡大していきます。

『環境』というテーマは我々の業界での大きな動きとなっており、プラスチックから紙化の動きに併せて、環境配慮型製品の供給を強化しています。軟包装パッケージ分野においては、モノマテリアル(単一素材)化、薄肉化、環境配慮材料の利用を推進していきます。

水性フレキソ印刷加工工場「SEKI BLUE FACTORY」における使用電力のすべてを、実質再生可能エネルギーに切り替えました。当社の環境配慮型工場で製品を生産することで、顧客のサプライチェーンの責任ある一員として更なるCO_2削減に寄与していきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後もなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



代表取締役社長
関　宏孝

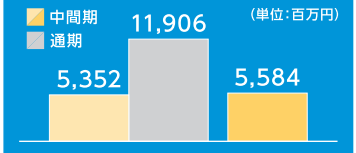
中間配当金
12円

1株当たり四半期純利益
17円63銭

財務ハイライト(連結決算)

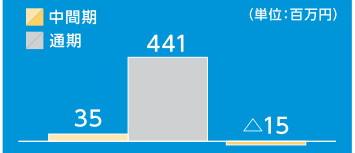
売上高

5,584百万円
前年同四半期比較 4.3%



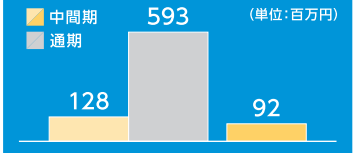
営業利益

△15百万円
前年同四半期比較 50百万円



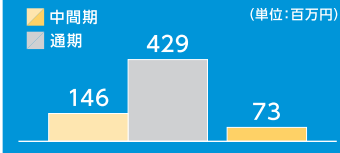
経常利益

92百万円
前年同四半期比較 27.7%

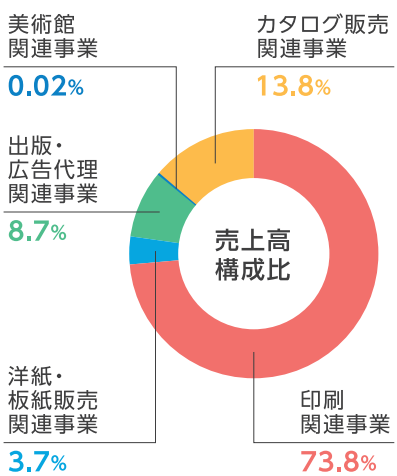


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

73百万円
前年同四半期比較 49.8%



セグメント別の概況



印刷関連事業 社会経済活動が正常化へ向かう中で、国内旅行やインバウンド需要の増加に関する印刷受注が好調であったこと等により増収となったが、外注費の増大や付加価値の高い受注の減少等により減益。
- ▶ 売上高　41億1千9百万円(前年同四半期比3.0%増)
- ▶ 営業損失　2千5百万円(前年同四半期は5千2百万円の営業利益)

洋紙・板紙販売関連事業 企業活動の緩やかな持ち直しに伴う印刷業者からの用紙受注が堅調であったこと等から増収となったが、原価上昇等により減益。
- ▶ 売上高　2億4百万円(前年同四半期比19.4%増)
- ▶ 営業損失　1千万円(前年同四半期は1千万円の営業損失)

出版・広告代理関連事業 企業の広告宣伝活動の持ち直しによるメディア広告や求人に関する広告受注が増加したこと等により増収増益。
- ▶ 売上高　4億8千8百万円(前年同四半期比4.4%増)
- ▶ 営業損失　2百万円(前年同四半期は2千8百万円の営業損失)

美術館関連事業 セキ美術館では、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い道後温泉地区を訪れる観光客が増加。
- ▶ 売上高　1百万円(前年同四半期比6.2%増)
- ▶ 営業損失　1千万円(前年同四半期は9百万円の営業損失)

カタログ販売関連事業 社会経済活動の正常化により事務用品関連の物販事業は持ち直しの動きが見られ、増収増益。
- ▶ 売上高　7億7千万円(前年同四半期比8.0%増)
- ▶ 営業利益　3千3百万円(前年同四半期比3.1%増)

SDGs・カーボンニュートラルへの取り組み強化

環境配慮型工場への改善

「SEKI BLUE FACTORY」の使用電力すべてを実質再生可能エネルギーに切り替え

水性フレキソ印刷加工工場「SEKI BLUE FACTORY」における使用電力のすべてを、四国電力株式会社が提供するCO2フリーメニューを活用し実質再生可能エネルギーに切り替えました。当社では初めての取り組みであり、この切り替えにより使用電力に対するCO₂排出量約567t（2022年度使用電力量基準）の削減を見込んでいます。





環境配慮型製品の拡大

日本サステナブル印刷協会への加入

当社ではカーボンニュートラルの実現に向け、実質再生可能エネルギーへの切り替えやJクレジットの活用によるカーボンオフセットを推進しており、工場のスコープ1～3のCO₂排出量実質ゼロを目指しています。カーボンオフセット印刷された製品には同協会が発行する「カーボンゼロプリントマーク」「カーボンニュートラルプリントマーク」を表示することが可能となり、環境に配慮した印刷物の普及に貢献していきます。

CARBON ZERO PRINT
SUSTAINABLE PRINTING ASSOCIATION OF JAPAN

CARBON NEUTRAL PRINT
SUSTAINABLE PRINTING ASSOCIATION OF JAPAN

デニム端材を利用した混抄紙でメモ帳を作成

高知県のジーンズ製造会社であるじぃんず工房大方から、デニム生地の端材を原料とする混抄紙を使った商品相談をいただき、抄紙から製本まで高知で完結する「オール高知」にこだわったメモ帳を製作しました。商品化されたメモ帳には廃棄されるデニム生地の端材を利用しており、環境に配慮した新たな高知ブランド品の1つとなりました。



トピックス

ひめボス事務局の運営

愛媛県が実施する「ひめボス宣言事業所認証制度」の事務局運営を行っています。人口減少対策として、女性活躍及び仕事と家庭生活等の両立に取り組む事業所を認証し、その取り組みを後押しすることで、すべての労働者にとって子どもを産み育てやすい環境づくりを促進することを目的としています。2023年8月に申請受付を開始し、10月現在で約50事業所が基本認証を取得しています。

HIMEBOSS ひめボス 認証事業所

ロジスティクス事業 伊織商品への刺繍対応を開始

株式会社伊織のECサイトで販売されているタオル関連商品の在庫管理や梱包・発送業務に加え、2023年6月から新たに刺繍業務を開始しました。今後も当社の強みの1つである物流付帯業務を活かし、お客様の業務効率化を支援していきます。

伊織ECサイトはこちら



「予土まち散走ブランド定着事業」委託業務

愛媛県南予地方局より、宇和島市・三間町・鬼北町・松野町の４エリアを「予土まち」と称し、サイクリングを活用した「予土まち散走」のブランド定着を図る事業を受託しました。散走ツアー（サイクリングイベント）の実施・運営を行いながら、WEB・SNSを活用したPR業務を実施しています。

予土まち



（敬称は省略させていただきます）

会社概要・株主優待

会社概要

商　　号	セキ株式会社
松山本社	愛媛県松山市湊町七丁目7番地1
東京本社	東京都渋谷区代々木三丁目2番8号
設　　立	1949年3月31日
資 本 金	1,201,700千円

■ 自社オリジナルティッシュペーパー 1ケース（20箱）

対　　象：3月末日現在、1,000株以上保有の株主様
贈呈時期：7月上旬



自社オリジナルティッシュペーパー

株主ご優待制度

■「セキ美術館」ご招待券

対　　象：3月末日及び9月末日の株主様
贈呈時期：3月末日現在の株主様　6月下旬
　　：9月末日現在の株主様　11月下旬

持株数	ご招待券贈呈枚数
100株以上	2枚
3,000株以上	4枚



「セキ美術館」ご招待券

■ 自社カレンダー 1部

対　　象：9月末日現在、100株以上保有の株主様
贈呈時期：11月下旬





自社カレンダー

株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）0120-782-031（平日 9:00～17:00）
（インターネットホームページURL）https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

新しい価値の創造によるSDGsの推進

Next200 2017-2025-2035 | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社は、2020年7月にSDGs宣言し、SDGsが掲げる17の目標と「Next200」に掲げている当社の重点経営課題への取り組みを改めて整理し、事業を通じてSDGsの達成に向けて、真摯に取り組んでいくことで持続可能な社会の実現に貢献します。